

# 豊岡市における自動運転バス導入にむけた取り組みについて

## 2026年度城崎温泉街での自動運転バスの実証運行

本プロジェクトは、市と地域団体が、最新の自動運転システムや安全運行のノウハウを持つパートナー企業とともに、城崎温泉街特有の運行環境において、互いの強みを持ち寄り、住民ニーズの把握や運行データ(フィードバック)の収集・蓄積を行い、地域課題の解決を目指す「共創」のチャレンジです。

## 自動運転実装(実証)に関する考え方

### 豊岡市

実証のための実証実験は行わない。

事業持続性のある実装を見据えたモデルを構築し実証実験を実施する。

### 財務省

国土交通省「自動運転社会実装推進事業補助金」に対し、**レベル4移動サービスの実装を見据えた取り組みとは到底言えないものが含まれて**おり、実績評価の仕組みを導入すべきと改善点を示している

### 国土交通省

上記財務省の指摘を受け、2026年度「自動運転社会実装推進事業補助金」は、2027年度までにレベル4実装(全区間)を実現する計画を策定した場合(補助金申請時には必須)において、**目標未達成となった場合に、補助金返還を求める場合がある**としている。

国は、実証のための実証、実装につながらない取り組みが多いことを問題視

## 市内での自動運転実証の場所・ルートについて

持続性のあるモデルは・・・

# 城崎温泉街での自動運転実装(実証)

[理由]

- ・城崎温泉街では、交通環境改善事業の一環として、将来的なグリーンスローモビリティを構想している。
- ・実装時の自動運転運行経費として特定財源の活用が見込める。
- ・実装時に運行主体となり得るエリアマネジメント法人の設立が検討されている

# 2026年度自動運転試験運行事業について

人口減少や高齢化により運転手不足や利用者の減少が生じ、路線バスの減便、廃止など市民の移動を支える仕組みが維持できなくなっている。

このような地域公共交通が抱える課題に対応し、市民の移動手段や外出機会を維持するための次世代モビリティとして自動運転バス(自動運転技術)の導入に向けた実証を実施する。

2026年度は、地域の団体等が中心となり、交通渋滞緩和に向けて様々な取組を行い、将来的にグリーンモビリティや自動運転の導入を構想されている城崎温泉街において実証運行を実施する。

## 1 実施時期(予定)

2026年9月(1か月間程度)      \*テスト運行(乗客なし)      2026年8月(1か月程度)      ※許可・届出関係で実施時期を調整する可能性あり

## 2 場所(予定)

城崎温泉街(JR城崎温泉駅～城崎国際アートセンター)

## 3 試験運行内容(仮)

- ・ **オペレーターを常時乗車させ環境の変化に即座に対応し安全を確保する体制**(レベル4のシステムを搭載した車両をレベル2で運行)での実施
- ・ 城崎温泉の**地元団体等と共に取り組む**
- ・ 運行時間帯や運行本数、バス停設置の有無、歩行者誘導員配置の必要性などは、地域の住民や団体、警察などの関係機関と十分協議し、**安全性の確保を最優先**に取り組む

## 4 事業費

9,900千円 (観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業(2/3)」申請中))

自動運転バス実証運行参考資料  
(プロポーザル公募用)

# 2026年度自動運転試験運行ルート（案）

城崎国際アートセンター



城崎温泉駅

自動運転バス実証運行参考資料  
(プロポーザル公募用)

# 2026年度自動運転試験運行事業の目的と実施内容

## ①環境適応性と安全性の検証

試験運行期間を通じて、「そぞろ歩き」など、城崎温泉特有の交通環境における走行データの取得や自動運転の安全性を精査。レベル4導入に向けた課題を抽出

## ②自動運転(レベル4)運行に必要な環境整備とサービスの洗い出し

走行データに加え、住民や事業者へのアンケートを実施。  
実用化に向けたインフラ整備の要件や、市民ニーズに即したサービス内容を抽出。

## ③住民等の社会受容性の醸成

地域住民・事業者・来訪者が乗車する機会をつくり、自動運転を体感し自動運転バスの利便性や安全性への理解を進め地域全体での受容性を高める。

## 自動運転に関する今後の予定(案)

※実証運行の結果等により変更する可能性があります。

2025年度

### 城崎温泉街交通社会実験①

温泉街の車両流入を制限し  
仮設パーキングと温泉街を結ぶ臨時バス  
を運行

2026年度

### 城崎温泉街で レベル2自動運転の試験運行

[城崎温泉駅～城崎国際アートセンター]

2027年度

### 城崎温泉街で レベル4自動運転の実証運行

(城崎温泉交通社会実験②にあわせて)

2028年度以降

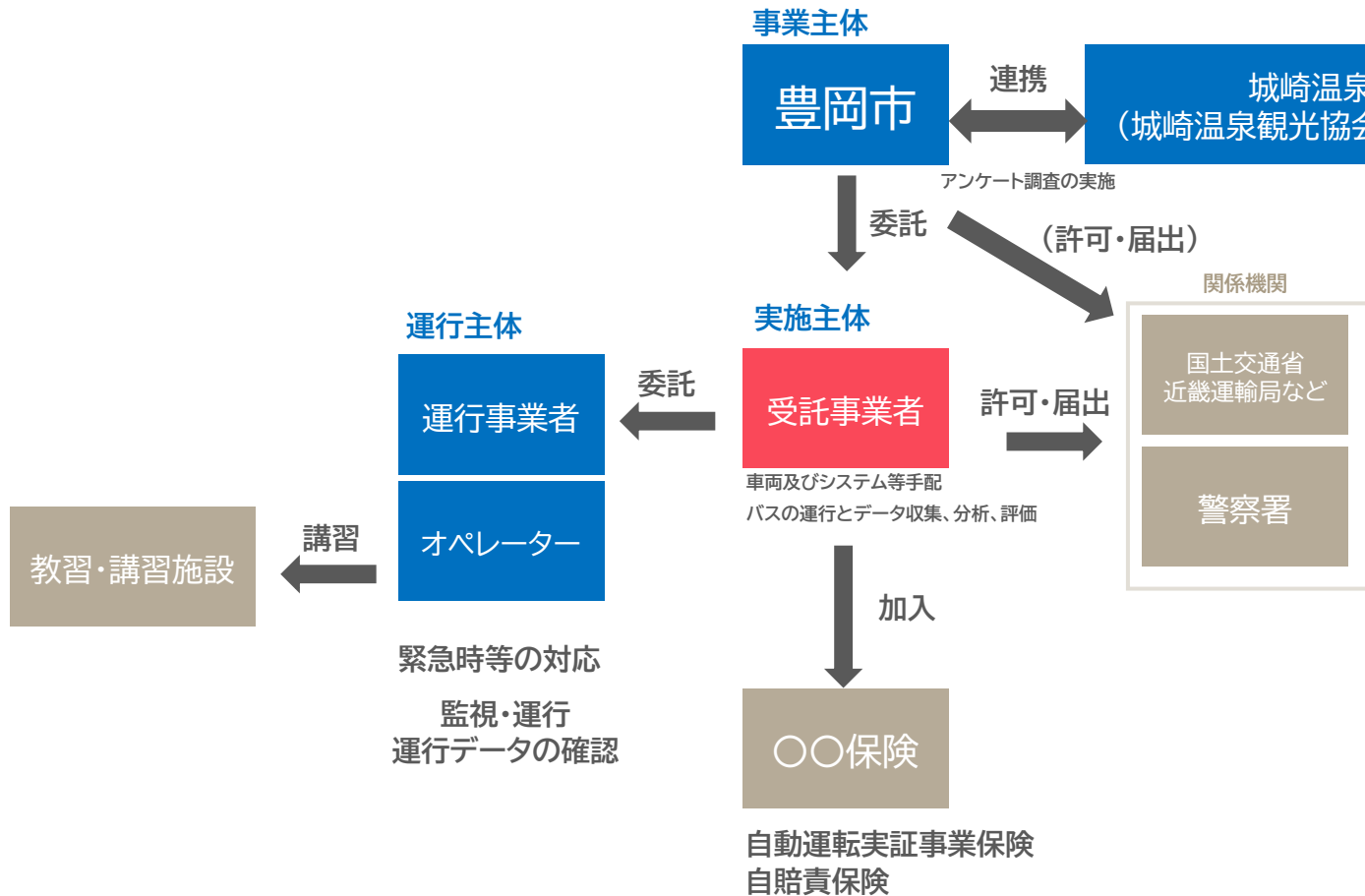
城崎温泉街での自動運転バス運行を想定  
市内他地域での自動運転バス運行の検討  
自動運転システムの活用検討(公共ライド  
シェア等)

2029年度以降

自動運転バス実証運行参考資料  
(プロポーザル公募用)

# 2026年度自動運転バス実証運行事業実施体制・役割（案）

※使用する車両、運行実績等により体制・役割分担が変更になる可能性あり



## 事故発生時の責任処理

本業務の遂行中(試走期間を含む)に発生した第三者への人身事故、物損事故、その他のトラブルについて、その原因の如何を問わず、原則として受託者の責任と費用において解決を図るものとする。損害を補償するため、受託者は適切な任意自動車保険等に加入しなければならない。

ただし、事故の原因が、市が指定したコースの瑕疵(適切な道路情報の不提供等)など、明らかに市の責に帰すべき事由によるものである場合は、市と受託者が誠実に協議の上、負担割合を決定する